



2015年5月13日
三和ホールディングス株式会社
www.sanwa-hldgs.co.jp

第80期 2015年3月期 決算説明資料



目 次

■ はじめに

1. 2014年度のポイントと最近の業績推移
2. 第一次3カ年計画の進捗について
3. 建設環境(日本・米国・欧州)

■ 2014年度 (実績)

4. 決算ハイライト
5. 連結売上実績(セクター別)
6. 三和シャッター工業受注状況
7. 営業利益増減要因

■ 2015年度 (予想)

8. 通期予想ハイライト
9. 連結売上予想(セクター別)
10. 営業利益増減要因

■ 財務ハイライト

11. 財務ハイライト

■ 第一次3カ年計画の進捗

12. 重点方針の進捗について
13. アジアの事業基盤確立
14. グローバル・シナジーの発揮

◆参考資料

1. セクター別連結業績の概要
2. 各地域(日・米・欧)の主要商品売上動向
3. 日本:製品別受注・売上高(三和シャッター)
4. 米州:部門別売上高(ODC)
5. 欧州:所在地別売上高(NF)
6. 主要経営指標
7. 設備投資額と減価償却費
8. トピックス

「予想」に関する注意

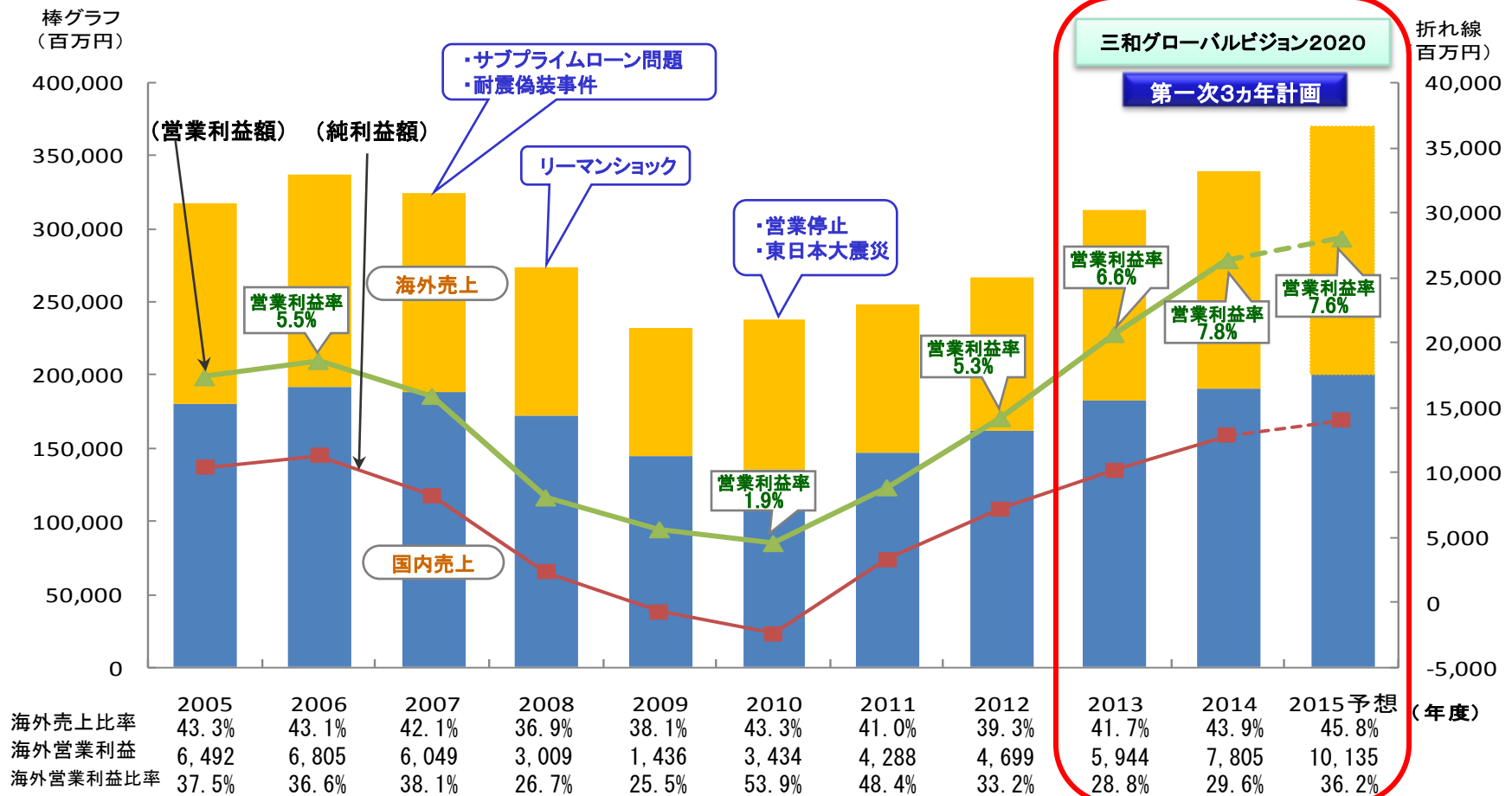
当資料に記載されている内容は、様々な前提に基づいたものであり、記載された業績予想、各施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

1. 2014年度のポイントと最近の業績推移

■売上高、各利益が過去最高を更新し、第一次3カ年計画を前倒し達成

- ・三和シャッターの営業利益率が10%台に
- ・ROEが10.7%となり、2桁回復
- ・期末配当を2円増額し、9円に(年間16円)

	米ドル	ユーロ
2012	80.12	103.46
2013	97.99	130.56
2014	106.46	140.35
2015	120.00	130.00
(予想)	(期中平均レート)	



2. 第一次3カ年計画の進捗について

第一次3カ年計画(2013年度-2015年度)の位置づけ

「グローバル・メジャー」としての基礎を確立する3カ年

<第一次3カ年計画の主要数値目標と2014年度実績の対比>

	2014年度実績	第一次3カ年計画	進捗コメント
売上高	3,390億円	3,250億円	1年前倒し達成
営業利益	263億円	230億円	〃
営業利益率	7.8%	7.1%	〃
ROE	10.7%	11.7%	円安による純資産増加で計画を下回ったが、10%台を回復
D/Eレシオ	0.70	0.61	金利が低下したため前倒しで資金調達を実行
SVA	78億円	50億円	1年前倒し達成

売上高・営業利益など主要な数値目標は1年前倒しで達成。

第一次3カ年計画(2013~2015年度)の最終年度である2015年度は、残された課題進捗に取り組む。次期中期経営計画は2016年に発表予定。

3. 建設環境(日本・米国・欧州)

■建設環境


			2013		2014				2015	
					実績	第2Q時予想	予想			
日本	住宅着工戸数	千戸	987	10.6%	880	-10.8%	888	-10.0%	917	4.2%
	非住宅着工床面積	千m ²	47,679	7.0%	45,013	-5.6%	49,305	3.4%	46,548	3.4%
	民間企業設備投資	10億円	71,546	4.0%	71,403	-0.2%	73,692	3.0%	73,617	3.1%
米国	住宅着工戸数	千戸	925	18.5%	1,001	8.2%	1,010	9.2%	1,140	13.9%
	中古住宅販売戸数	千戸	5,090	9.2%	4,940	-2.9%	4,938	-3.0%	5,275	6.8%
	非住宅着工床面積	百万Sq Ft	807	3.9%	839	4.0%	936	15.9%	927	10.4%
	設備投資	10億ドル	1,523	3.0%	1,619	6.3%	1,616	6.1%	1,707	5.4%
欧州	住宅完工戸数(独仏伊蘭)	千戸	678	-7.4%	678	0.0%	705	4.0%	645	-4.9%
	非住宅建物投資(独仏伊蘭)	百万ユーロ	83,179	-6.2%	81,989	-1.4%	84,242	1.3%	83,238	1.5%
ドイツ	住宅完工戸数	千戸	188	6.7%	215	14.1%	225	19.4%	235	9.3%
	非住宅建物投資	百万ユーロ	29,035	-4.2%	29,761	2.5%	30,248	4.2%	30,654	3.0%


※出典：(日)国土交通省2014.04、建設経済研究所2015.04

Blue Chip Economic Indicators2015.05、National Association of Realtors2015.05、McGrawHill2014.12、(欧)Euroconstruct2014.11

日米の2014-15設備投資予想はニッセイ基礎研究所2015.03

※日本は年度ベース(4-3月)、米欧は暦年ベース(1-12月)

※  は2Q予想との比較

※  は2014年実績との比較

<建設環境見通しについて>

日本：2014年度住宅着工は、消費税の駆込み需要の反動で大幅な減少となったが、2015年度は回復を見込む。非住宅着工床面積は2014年度は減少したものの、建設投資が底堅く推移しているため、今後の回復を見込む。

米国：新規住宅着工は100万戸を回復し、2015年も引き続き増加を見込む。中古住宅販売は前年のマイナスから2015年は増加の予想。非住宅分野は、ドル高・エネルギー安の影響が一部見られるものの、内需系を中心に回復を見込む。

欧州：2015年度のドイツは住宅・非住宅とも回復を見込むが、フランス・イタリアは住宅市場の厳しい状況が続く見込み。

■ 2014年度（実績）

2014年4月～2015年3月

《通期連結実績》

※予想とは2Q決算時に発表した修正予想のこと

	通期実績	上期	下期	予想	予想比	前年実績	前年比(額)	(率)
売上高	3,390億円 【3,277億円】	1,464億円	1,926億円	3,325億円	+65億円 (+2.0%)	3,120億円	+271億円 【+158億円】	(+8.7%) 【+5.1%】
営業利益	263.3億円 【257.3億円】	71.4億円	191.9億円	235.0億円	+28.3億円 (+12.0%)	206.5億円	+56.8億円 【+50.8億円】	(+27.5%) 【+24.6%】
経常利益	259.8億円 【253.9億円】	68.3億円	191.5億円	230.0億円	+29.8億円 (+13.0%)	203.2億円	+56.6億円 【+50.7億円】	(+27.9%) 【+25.0%】
当期純利益	128.6億円 【125.1億円】	32.9億円	95.7億円	115.0億円	+13.6億円 (+11.8%)	101.6億円	+27.0億円 【+23.5億円】	(+26.5%) 【+23.1%】

【 】内は、13年度為替レート適用の数値。前年との実質対比のために表記したものの。

《決算のポイント》

〈要約〉	売上高、各利益とも過去最高を更新。国内各社が牽引し、アルファ社買収、円安効果もあり連結業績を押し上げた。
売上高	売上は、+8.7%(+271億円)の増収(為替影響を除くと+158億円)。 国内Gは、+5.0%(+94億円)の増収。三和シャッターは+89億円(予想比では+20億円)、他国内グループ会社は+5億円(予想比では▲2.6億円)となった。 米国(ODC)は、現地通貨において+3.9%(+\$34.9百万≒+34億円)の増収となった(予想比では▲\$1.7百万)。 欧州(NF)は、現地通貨において+8.5%(+€28.0百万≒+36億円)の増収となった(予想比では+€1.2百万)。アルファ社寄与+€36.1百万。
営業利益	営業利益は、+27.5%(+56.8億円)の大幅増益(為替影響を除くと+50.8億円)。 国内Gは+29.8%(+44.1億円)の大幅増益。三和シャッターが+30.0%(+40.5億円)の大幅増益。予想比においても+20.2億円となった。他国内グループ会社は、前年比+27.1%(+3.6億円)、予想比+1.0億円となった。 米国(ODC)は、現地通貨において+19.1%(+\$9.5百万≒+9.3億円)の大幅増益となったが、予想比は▲\$0.8百万。販売価格アップ、コスト削減が寄与。 欧州(NF)は、現地通貨においては+30.0%(+€2.5百万≒+3.2億円)の大幅増益となり、予想比でも+€0.7百万となった。アルファ社寄与+€3.5百万。
経常利益	経常利益は、+27.9%(+56.6億円)の大幅増益。 営業外損益は、アジア事業の一部不振が影響し、持分法投資損益が▲4.3億円悪化したが、金融損益が改善し、ほぼ前年並みの▲3.6億円。
当期純利益	当期純利益は、+26.5%(+27.0億円)の大幅増益。 土地減損(▲29.9億円)などを実行したため、特別損益が前年比▲4.7億円悪化した。

為替レート	2012	2013	2014	2015(予想)
1ドル	80.12	97.99	106.46	120.00
1ユーロ	103.46	130.56	140.35	130.00

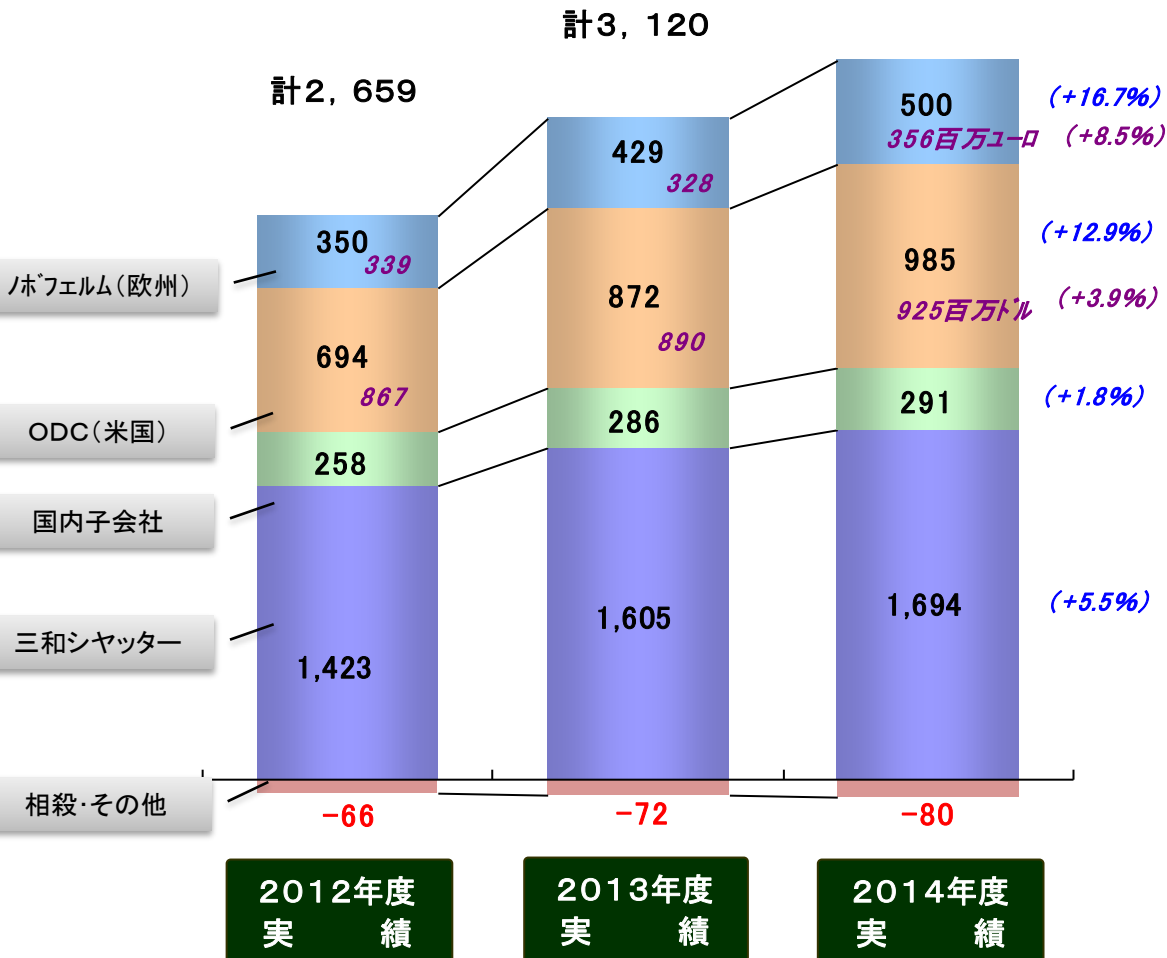
5. 2014年度 連結売上実績(セクター別)

単位

億円 百万ドル 百万ユーロ
(前年増減率)

売上高

計3,390 (+8.7%)



※三和シャッターは、同社のみ個別数値
(三和HDは、相殺・その他に含む)

<ノボフェルム(欧州)>

現地通貨で+8.5%の増収 (30ページ参照)

- ① ガレージドアはフランスなどの市場悪化が続き、減収 (▲5.9%)
- ② ヒンジドア事業は、PJ受注活動等に注力し、微増収 (+0.8%)
- ③ 産業用ドアは、アルファ社寄与により大幅増収 (+41.9%)

<ODC(米国)>

現地通貨で+3.9%の増収 (29ページ参照)

- ① ドア事業はガレージドア、商業用とも増収 (+2.9%)
- ② 開閉機は各チャネルとも好調に推移し増収 (+6.4%)
- ③ 自動ドアは新ERP導入混乱の回復遅れなどの影響で減収 (▲4.9%)
- ④ 車両用ドアは大口顧客からの受注増加により大幅増収 (+29.5%)

<国内子会社>

+1.8%の増収

- ① 昭和フロントのみが店舗の着工減により減収 (▲3.0%)
- ② 沖縄三和は建設投資堅調のため大幅増収 (+12.4%)
- ③ 三和タジマはステンレスのグループ連携もあり増収 (+6.2%)

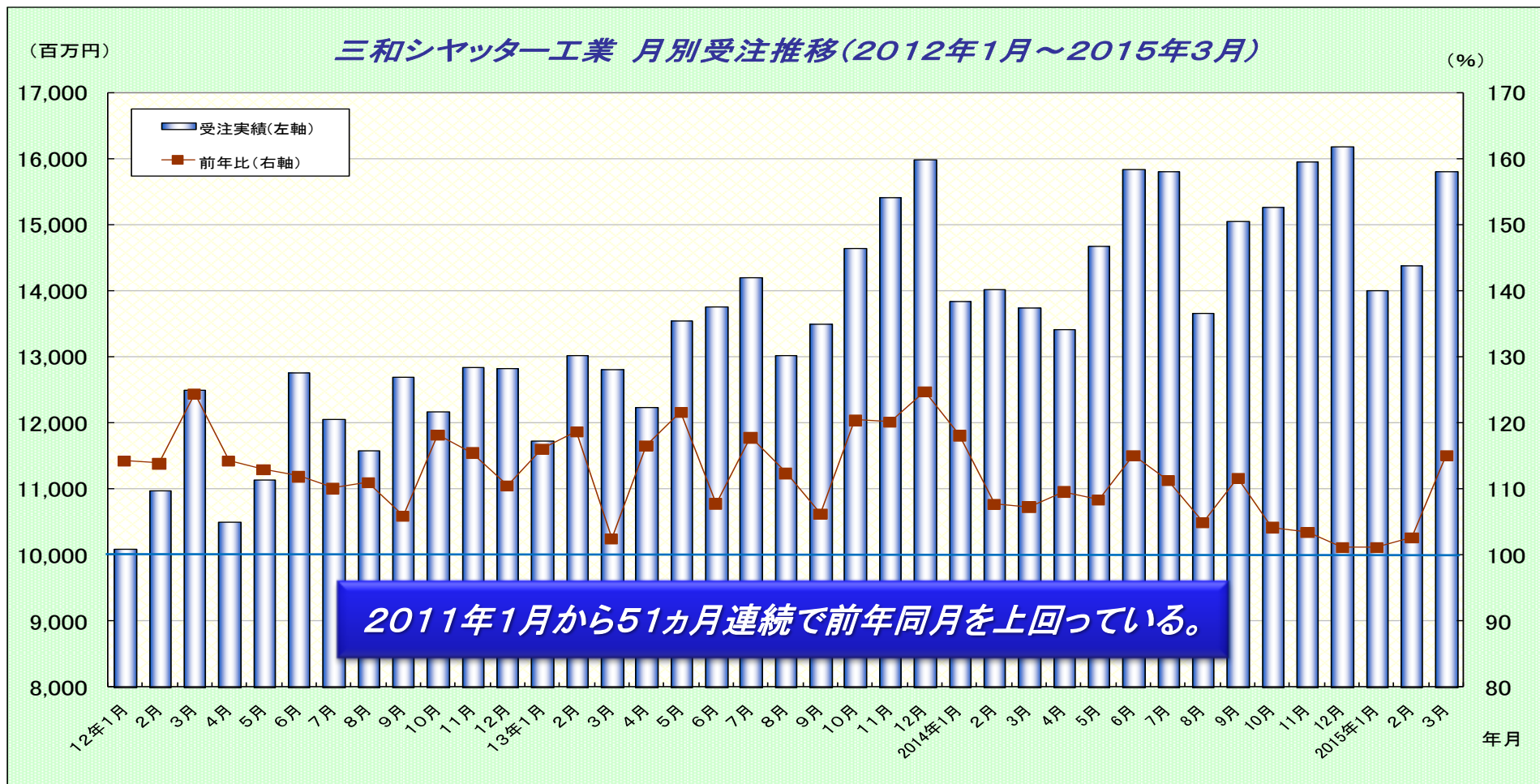
<三和シャッター>

+5.5%の増収 (28ページ参照)

- ① 軽量シャッターは、駆込み需要反動減が下期に影響が大きかったため減収 (▲3.2%)
- ② 重量シャッターは、下期数量減の中、単価回復で増収 (+3.1%)
- ③ ビル・マンションドアは、オフィス、病院などが伸びたことにより増収 (+7.5%)
- ④ メンテ・サービスは施主営業を強化し増収 (+3.1%)
- ⑤ 間仕切は、引き続きトイレブース、スチールパーティションなどラインナップを充実させ大幅増収 (+19.1%)

為替レート	2012	2013	2014	2015(予想)
1ドル	80.12	97.99	106.46	120.00
1ユーロ	103.46	130.56	140.35	130.00

6. 三和シャッター工業受注状況



■ 受注動向

2014年度受注実績は1,801億円[前年比+7.3%]

(28ページ参照)

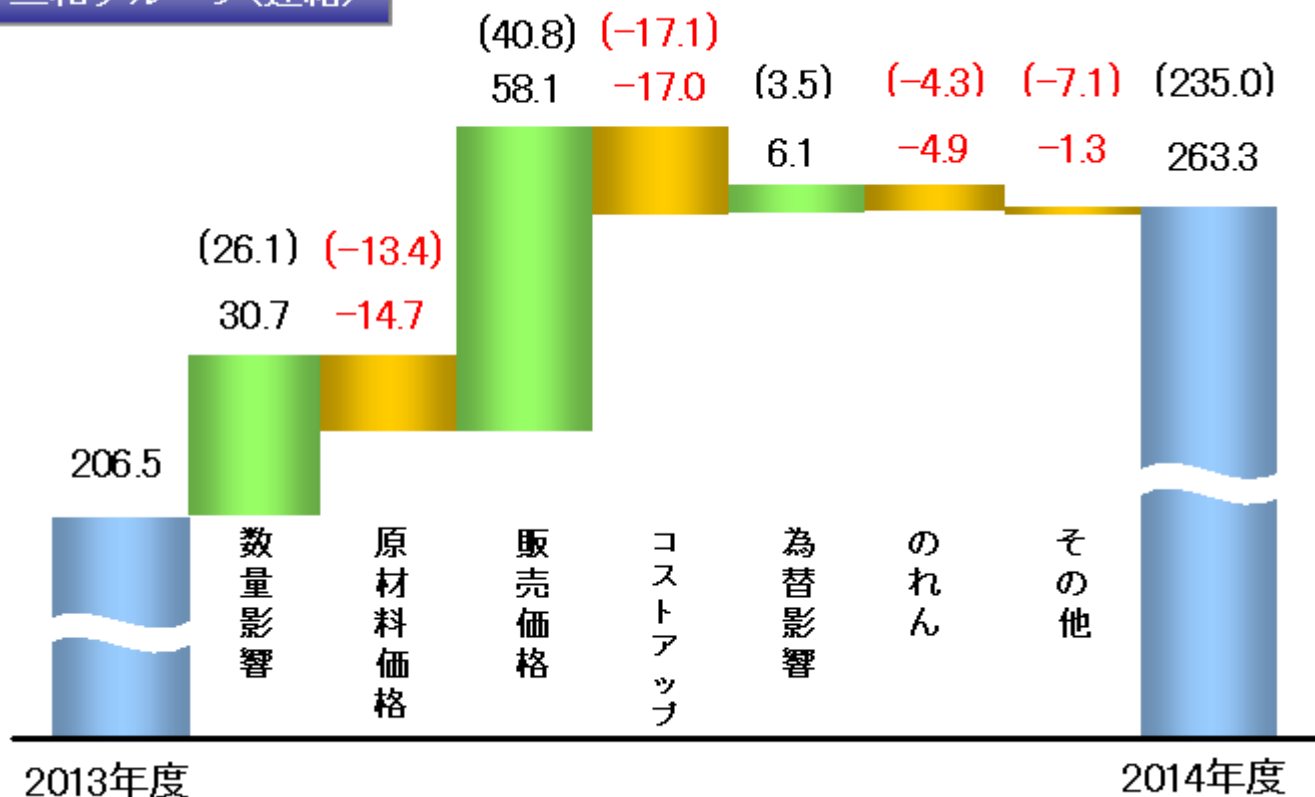
- ・受注実績は修正予想を約25億円上回った。受注を牽引している商品は重量シャッター、ビルマンションドア、間仕切などであり、非住宅建築分野が安定して伸びた。
- ・消費増税駆込み需要の反動については、下期に軽量シャッター、窓シャッターにおいて影響があったものの、全体への影響は軽微であった。

7. 営業利益増減要因(連結実績)

三和グループ(連結)

単位: 億円

() 内は修正予想



予想比 +28.3億円

前年比 +56.8億円

■前年比ポイント:原価率が連結で0.9%改善

三和シャッターは、不採算物件の減少等による販売価格改善、数量増効果などが主な要因。ODCは、数量および販価引上げ効果が大きく、NFは、数量減に加え、競争激化による販価引下げをコストダウンで吸収したが、主たる増益要因はアルファ社買収効果。販売管理費が人件費を中心に全セクターで増加(為替影響を除き+27.8億円)したものの、粗利益が大幅に増加(+78.6億円)し、為替影響を加えた結果、営業利益は+56.8億円の大幅増益となった。

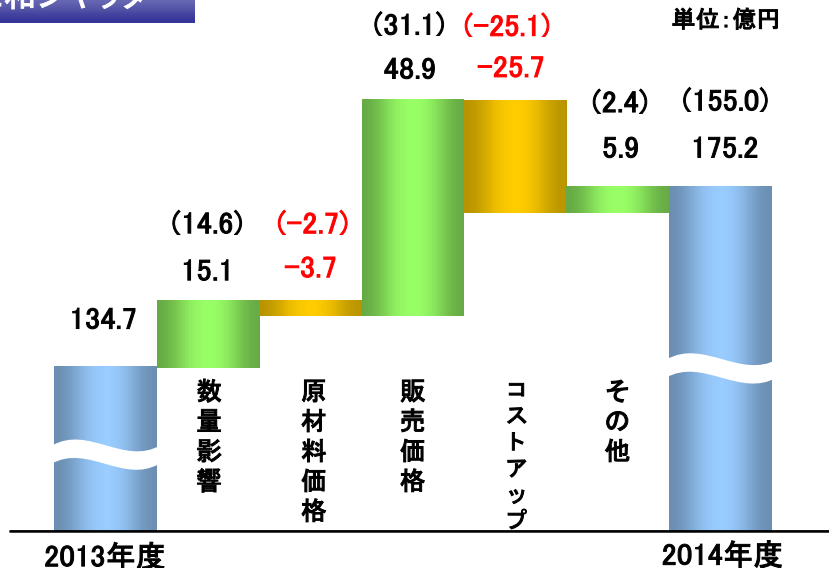
7. 営業利益増減要因(セクター別)

※各セクターには相殺項目があるため合計しても前ページの数値とは一致しません

三和シャッター

() 内は修正予想

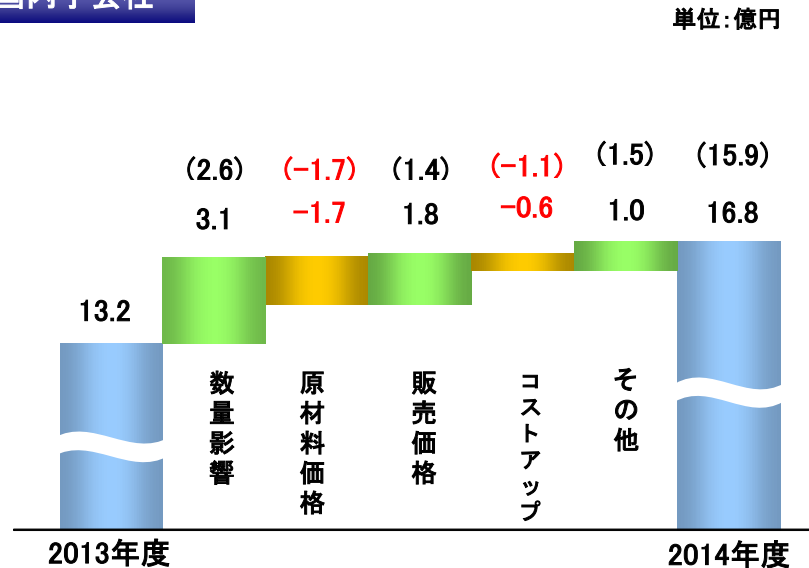
単位: 億円



国内子会社

() 内は修正予想

単位: 億円

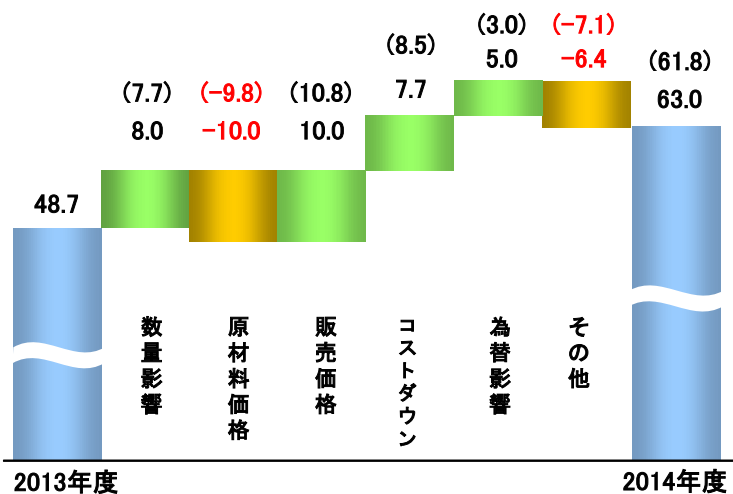


ODC

為替レート(米ドル)
2013 97.99円
2014 106.46円

() 内は修正予想

単位: 億円

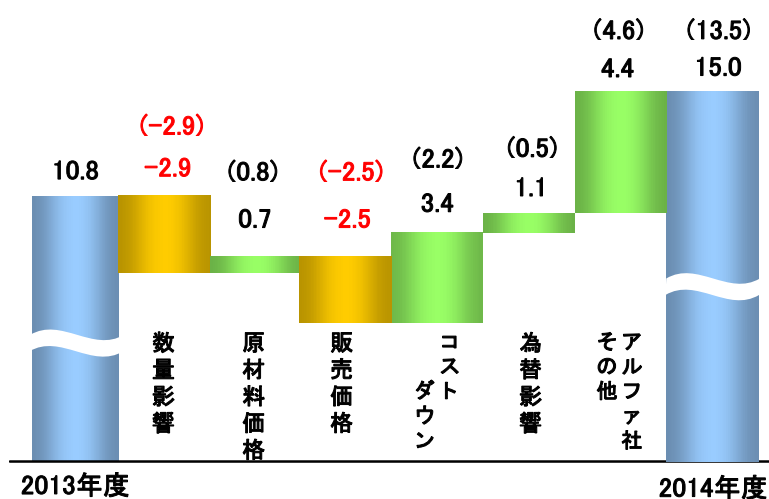


ノボフェルム

為替レート(ユーロ)
2013 130.56円
2014 140.35円

() 内は修正予想

単位: 億円



■ 2015年度 通期(予想)
2015年4月～2016年3月

《2015年度通期予想》

	通期予想	上期	下期	前年実績	前年比(額)	前年比(率)
売上高	3,700億円 【3,608億円】	1,600億円	2,100億円	3,390億円	+310億円 【+217億円】	(+9.1%) 【+6.4%】
営業利益	280.0億円 【271.4億円】	67.0億円	213.0億円	263.3億円	+16.7億円 【+8.1億円】	(+6.3%) 【+3.1%】
経常利益	274.0億円 【265.7億円】	63.0億円	211.0億円	259.8億円	+14.3億円 【+5.9億円】	(+5.5%) 【+2.3%】
当期純利益	140.0億円 【134.6億円】	32.0億円	108.0億円	128.6億円	+11.4億円 【+6.0億円】	(+8.9%) 【+4.7%】

【】内は14年度為替レート適用の数値。前年との実質対比のために表記したもの。

《予想のポイント》

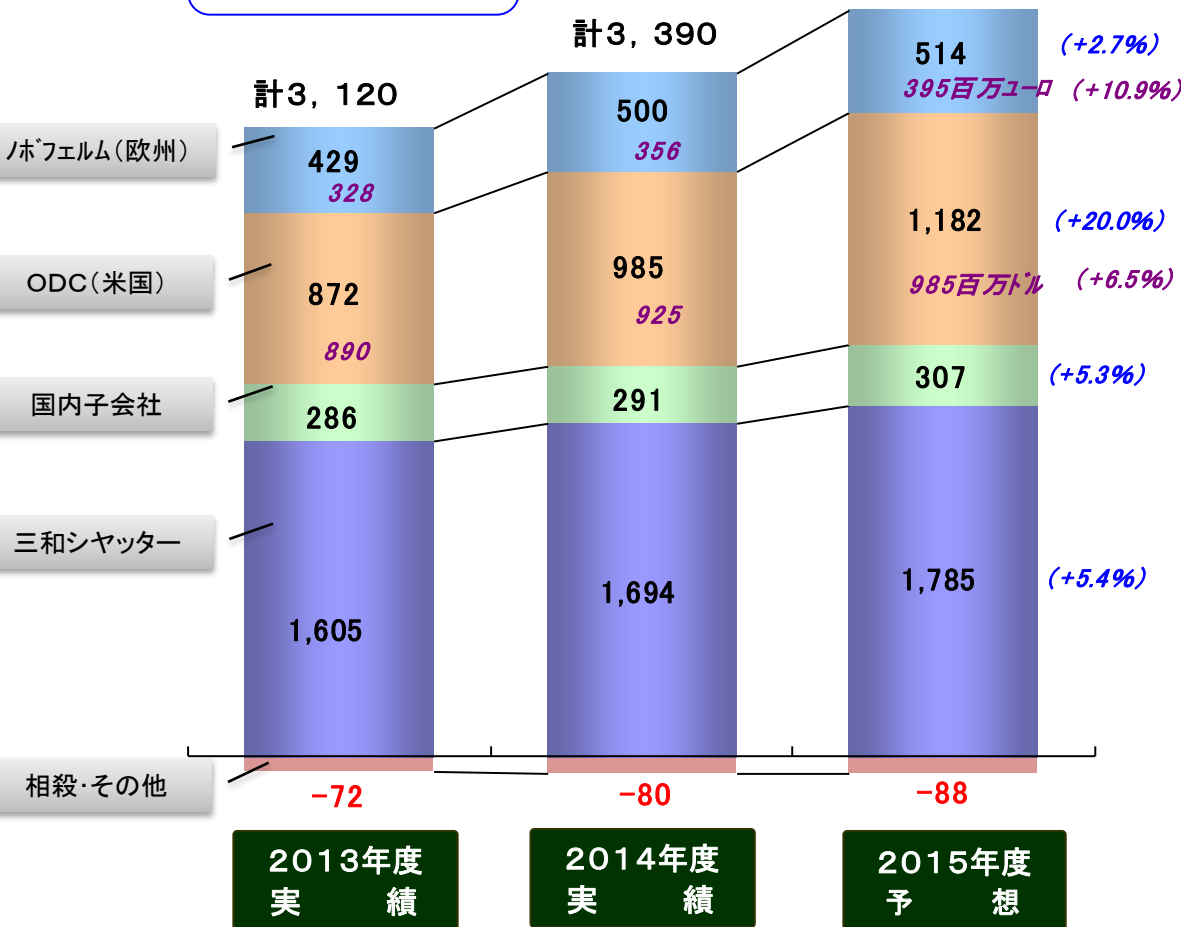
〈要約〉	売上高、利益とも過去最高となる見込み。 増収率より増益率が下回るのは、国内工事力強化等将来投資を積極的に行うため。
売上高	売上は、+9.1%(+310億円)の増収予想(為替影響を除くと+217億円)。 国内Gは、+5.4%(+106億円)の増収。三和シャッターは+91億円、他国内グループ会社は+15億円の増収予想。 米国(ODC)は、住宅・非住宅とも堅調に推移し、現地通貨において+6.5%(+\$60百万≒+64億円)の増収予想。 欧州(NF)は、既存事業は微増収見込みであるものの、アルファ社の寄与が大きく、現地通貨において+10.9%(+€39百万≒+54億円)の増収予想。アルファ社の通年売上は、€73百万の予想。
営業利益	営業利益は、+6.3%(+16.7億円)の増益予想(為替影響を除くと+8.1億円)。 国内Gは+2.9%(+5.5億円)の増益。三和シャッターが+2.8%(+4.8億円)、他国内グループ会社は、前年比+4.0%(+0.7億円)の増益予想。三和シャッターは工事力強化のためのコストアップ等を見込む。 米国(ODC)は、現地通貨において+21.7%(+\$12.8百万≒+13.6億円)の大幅増益予想。 欧州(NF)は、現地通貨において+7.3%(+€0.8百万≒+1.1億円)の増益予想。アルファ社の営業利益は、通年で€6.9百万の予想。
経常利益	経常利益は、+5.5%(+14.3億円)の増益予想。 営業外損益は、持分法投資損益が+3.0億円改善するが、金融収益が減少し、前年比▲2.4億円の見込み。
当期純利益	当期純利益は、+8.9%(+11.4億円)の増益予想。 事業再構築費用など一定の特損は引き続き見込むものの、特別損益は改善を予想。

為替レート	2012	2013	2014	2015(予想)
1ドル	80.12	97.99	106.46	120.00
1ユーロ	103.46	130.56	140.35	130.00

9. 2015年度 連結売上予想(セクター別)

単位
 億円 百万ドル 百万ユーロ
 (前年増減率)

売上高



<ノボフェルム(欧州)>
 現地通貨で+10.9大幅増収 (30ページ参照)
 ① ガレージドアは、引き続き市場動向が厳しく減収 (▲1.8%)
 ② ヒンジドア事業は、PJ受注活動に注力し、新商品投入などにより増収 (+2.7%)
 ③ 産業用ドアは、アルファ社が寄与し、大幅増収 (+32.4%)

<ODC(米国)>
 現地通貨で+6.5%の増収 (29ページ参照)
 ① ドア事業はガレージドア、商業用とも増収 (+5.2%)
 ② 開閉機は各チャネルとも好調に推移し増収 (+5.5%)
 ③ 自動ドアは、前年のERP導入に伴う出荷遅れの反動増および買収寄与により大幅増収 (+26.9%)
 ④ 車両用ドアは前年の大口顧客からの受注増の反動により減収 (▲4.6%)

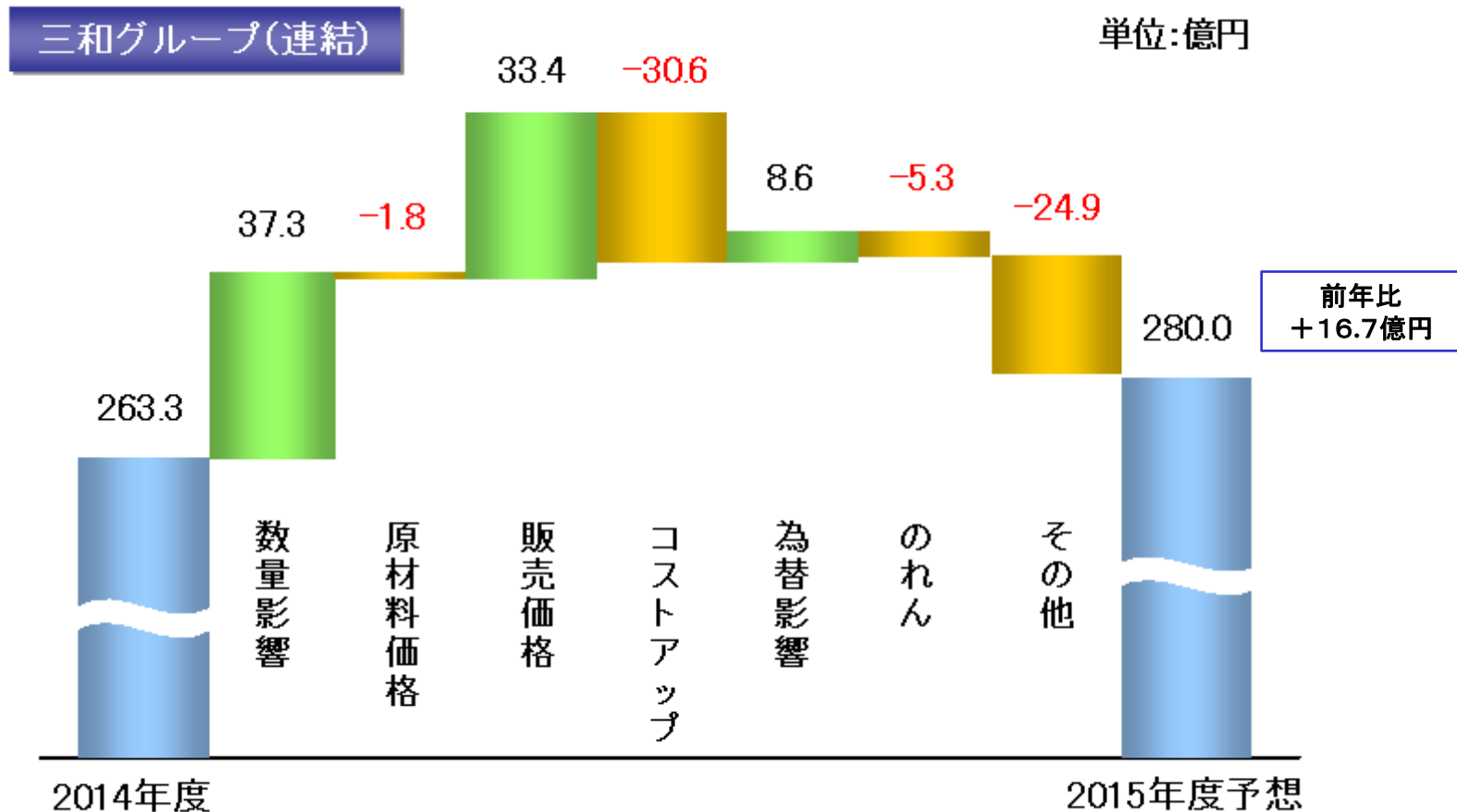
<国内子会社>
 +5.3%の増収
 ① 昭和フロントは店舗着工が持ち直し増収 (+7.0%)
 ② 沖縄三和は、引き続き建設投資が堅調のため増収 (+6.0%)
 ③ 三和タジマは商業用ビル他の伸長による増収 (+1.8%)

<三和シャッター>
 +5.4%の増収 (28ページ参照)
 ① 軽量シャッターは微増収 (+0.5%)
 ② 重量シャッターは工場・物流倉庫・大型店舗等の手持ち案件があり大幅増収 (+10.6%)
 ③ ビル・マンションドアは、オフィス、工場などの手持ち案件が順調に売り上がり増収 (+2.1%)
 ④ メンテ・サービスは施主営業強化により増収 (+5.1%)
 ⑤ 間仕切は、多品種化対応の定着化により増収 (+9.2%)

※三和シャッターは、同社のみ個別数値 (三和HDは、相殺・その他に含む)

為替レート	2012	2013	2014	2015(予想)
1ドル	80.12	97.99	106.46	120.00
1ユーロ	103.46	130.56	140.35	130.00

10. 営業利益増減要因(連結)



■2015年度のポイント

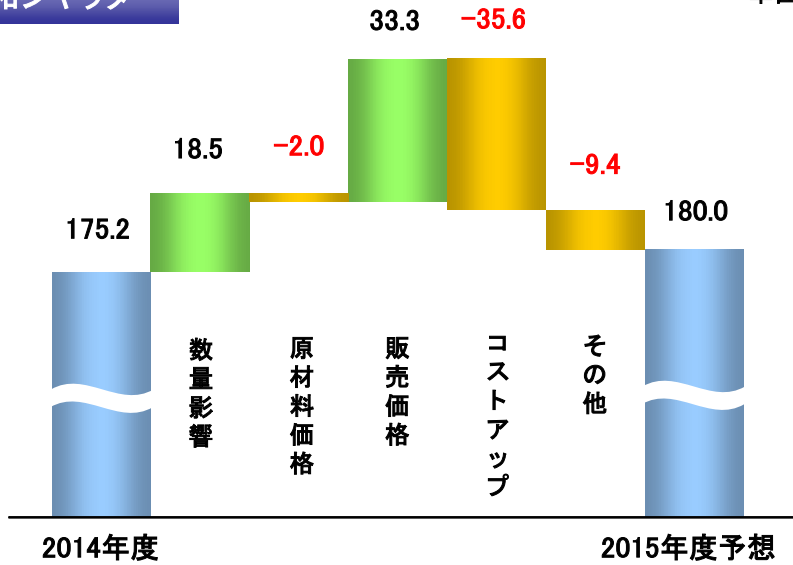
1. 国内は、不採算物件の改善等による販売価格効果が粗利益の改善を牽引し、数量効果も寄与するが、三和シャッターがメンテ法制化対応および工事力強化のための投資増・人員増など、各種コストアップを見込む。
2. 米国は、数量増および為替影響が大きく寄与する予想。
3. 欧州は、販売価格低下の粗利益悪化分を、アルファ社やコストダウンで補うものの、為替の円高が減益要因となることもあり微減益。

10. 営業利益増減要因(セクター別)

※各セクターには相殺項目があるため合計しても前ページの数値とは一致しません

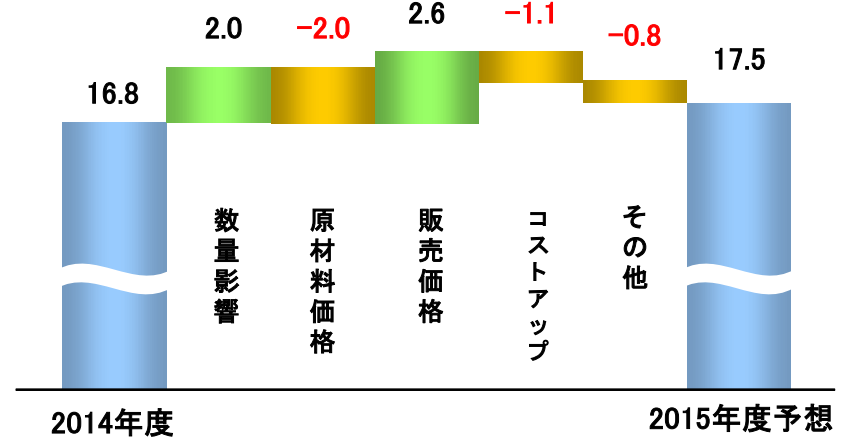
三和シャッター

単位: 億円



国内子会社

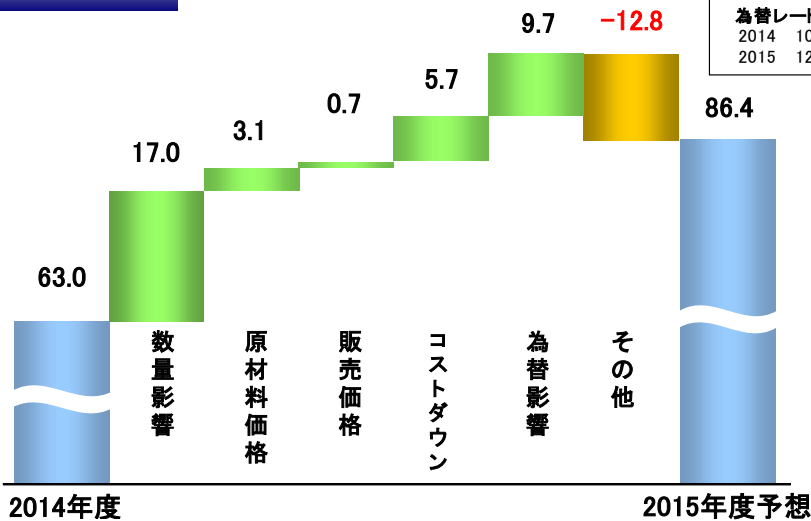
単位: 億円



ODC

単位: 億円

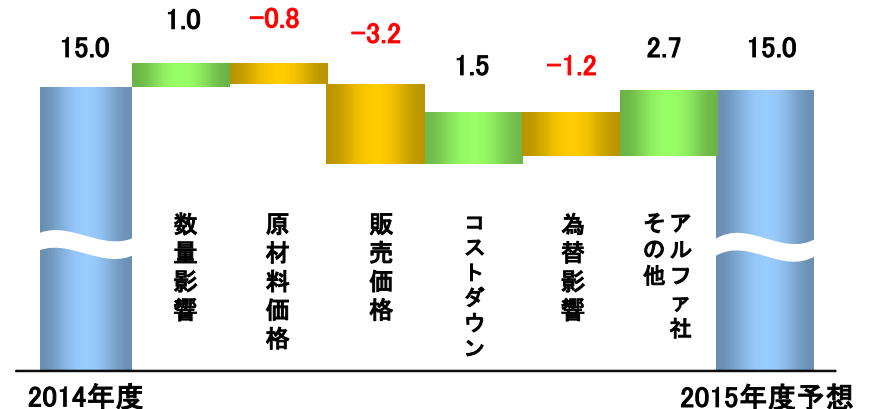
為替レート(米ドル)
2014 106.46円
2015 120.00円



ノボフェルム

単位: 億円

為替レート(ユーロ)
2014 140.35円
2015 130.00円



■ 財務ハイライト

11. 財務ハイライト①

(百万円)

1. B/Sの状況

	2014年		2015年			
	3月	比率	3月	比率	前年同期比 増減額	(前年比)
流動資産	177,521	63.0%	197,958	61.2%	+20,437	(111.5%)
現金・現金同等物	52,307	18.6%	58,605	18.1%	+6,298	(112.0%)
売掛金等、在庫	114,659	40.7%	125,358	38.8%	+10,699	(109.3%)
固定資産	104,396	37.0%	125,368	38.8%	+20,972	(120.1%)
投資有価証券	11,797	4.2%	17,145	5.3%	+5,348	(145.3%)
総資産	281,917		323,327		+41,410	(114.7%)
有利子負債	69,153	24.5%	88,483	27.4%	+19,330	(128.0%)
(D/Eレシオ)	0.61		0.70			
その他負債	98,611	35.0%	108,096	33.4%	+9,485	(109.6%)
純資産	113,956	40.4%	126,748	39.1%	+12,792	(111.2%)
為替調整勘定	9,252		16,043		+6,791	(173.4%)

アルファ社買収や金利低下による前倒し資金調達、円安による為替調整勘定の回復もあり、総資産および純資産が大きく増加

(百万円)

2. 特別損益の状況

	14年度		15年度予想
	実績	修正予想	
固定資産処分損	▲30	▲425	▲100
固定資産減損	▲2,993	0	0
投資有証売却損、評価損	▲88	▲200	▲100
子会社事業再構築	▲1,300	▲2,300	▲1,200
その他	▲58	▲525	▲1,000
特別損失計	▲4,469	▲3,450	▲2,400
特別利益	673	50	0
特別損益計	▲3,796	▲3,400	▲2,400

11. 財務ハイライト②

3. ROE

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度 予想
ROE	▲ 0.8	▲ 2.7	3.8	7.9	9.6	10.7	10.7

円安よる為替調整勘定改善が純資産を押し上げている中、利益拡大により10%を超える水準となった。2015年度も同水準を維持する見込み。

4. フリー・キャッシュフロー

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
営業CF+投資CF	▲ 44 WD買収	▲ 0.7	▲ 38 CDS買収	95	256	▲ 48 アルファ買収

5. 株主還元について

■基本方針

1. 配当：一株あたり純利益の35%を目安に行う。

※2015年度分から30%⇒35%に配当性向を見直し

2. 自社株取得：M&Aなど戦略投資の予定を勘案したフリー・キャッシュフローの状況により機動的に実行

①配当

・2014年度期末配当 2円増配し、9円

※年間16円となり過去最高

・2015年度配当予想 4円増配し、20円（中間10円、期末10円）

②自己株

■取得実績

自己株約50億円(約6,059千株)を取得済(2015年1月終了)

■消却実績

2014年5月に8,000千株、2015年2月に6,000千株を消却済

■三和グローバルビジョン2020
第一次3カ年計画の進捗

12. 重点方針の進捗について(日本)

多品種化の定着および、工事力強化等を図り、将来の収益基盤強化につなげる

1. 総合力

■国内グループ連携による多品種化推進策

エントランス周りの建材(ステンレス、アルミフロント、自動ドア、メールボックス等)をグループ各社が連携して受注活動を実施(2014年度～)

2. 伸ばすべき商品

- 間仕切 : スチール・ガラスパーティション、トイレブースの品揃え強化
- 防水商品 : 2014年に販売開始したウォーターガードシリーズへ、汎用性の高い防水シート・防水ドアを追加ラインナップ

3. 工事力の強化

■メンテ法制化対応および工事供給能力強化のための施工技術者の育成

好調な業績を支える施工技術者について、継続的な強化・支援策の実施

- ①人員増強 約3,300名(前年比+100名)を更に10%近く増強
- ②宿泊施設 本社能力開発センター内の宿泊定員を50%アップ
- ③待遇改善 取付け単価の一部見直しおよび各種育成プログラムの設定

4. 生産供給体制

■パーティション、スチールドア、マンションドア等の生産能力強化

静岡、太田ドア、広島、三和タジマなどの設備増強を実施(2014、15年度)
ベニックス工場では、トイレブースの生産能力を増強済(2014年度)

5. 復興需要

■東日本大震災復興需要

2014年度実績: 受注38億円、売上32億円
2015年度予想: 受注34億円、売上30億円

12. 重点方針の進捗について(米州)

北米事業の目標である売上高10億ドル、営業利益1億ドル以上(営業利益率10%)を達成するために、下記の諸施策を展開

1. ドア、開閉機事業の拡大

市場ニーズに応える新商品投入やコストダウンによる市場を上回る成長

ドア事業	<ul style="list-style-type: none"> ・新製品投入を軸にした住宅用ガレージドア事業の強化 ・ウェインダルトンチャンネルでのシャッター、商業用ドアのシェアアップ
開閉機事業	<ul style="list-style-type: none"> ・NFと共同開発したOPP(低価格帯開閉機)のメキシコ生産および全米での販売開始 ・原材料費削減および製造生産性向上策などコストダウン活動が進展

2. 川下戦略

利益率が高く、市場環境に影響を受け難い施工・サービス事業の拡大

単位:百万ドル

売上高	通貨	13年	14年	15年予想	進 捗
ドア事業 (CDS)	(カナダ\$)	63	69	76	2013年以降、カナダドルベースでは、順調に伸長している
自動ドア (ホートン ドアサービス事業)	(US\$)	24	24	37	2010年:ADEグループ買収 2012年:ドアコントロール社、アドバンスドアオートメーション社買収 2013年:テキサスアクセスオートメーション社買収 2014年:ホートンオートマティックスオブオンタリオ社買収

3. 新ERP導入

競争力強化および適正在庫管理による資材コスト削減等、経営コストの低減

■順次導入中(全拠点導入予定:2016年以降)

2015年に開閉機部門(ジニー)へ導入予定

※導入実績:2013年にトドコ(車両ドア)、2014年にホートン(自動ドア)へ導入



12. 重点方針の進捗について(欧州)

1. 産業用ドア事業

昨年買収したAlpha Deuren International B.V.(以下アルファ社)の統合をテコに、欧州事業(NF)の基盤強化を図る

2015年度予想効果合計:1.4M€

期待シナジー効果	実施策
①商品相互供給による拡販	・NF製スピードローラー、シャッターをアルファ社顧客へ販売開始 ・アルファ社製セクショナルドアの拡販
②販売・生産部門の最適化	・2015年に、最大市場のドイツで販売部門最適化を実施
③物流費の削減	・物流業者の絞込み

		※ 2014年実績	2015年予想
アルファ社	売上	36.1M€	73.1M€
	営業利益	3.5M€	6.9M€

※2014年は買収後(7月~12月)実績



2. 構造改革

将来の成長のため、欧州事業の構造改革を継続して実行

実施項目	2015年効果予想
ドイツ各工場間の生産体制の見直し	2.4M€
各業務プロセスの見直しによる人員最適化	



13. アジアの事業基盤確立

	13年度			
		14年度実績	修正予想	15年度予想
売上	53億円	52億円	52億円	77億円
営業利益	▲0.4億円	▲1.8億円	▲1.4億円	1.0億円

※アジア各社は持分法適用会社

※15年度予想にはドンバンNFを含んで表示

アジア各社は事業の基盤確立に向け、課題に取り組んだが、当初想定した市場環境が大きく変化し、こうした「市場環境変化への順応遅れ」を要因として修正予想より赤字額が増加した。

2015年度は、前年度に積み残した課題に取り組み、黒字化を目指し基盤構築を推進する。

	2014年度実績について	2015年度の重点方針
上海宝産三和	日系物件が減少しているものの、ローカル物件の受注等に注力し、増収・増益を確保	<ul style="list-style-type: none"> 柔軟な価格政策、商業用ビルへの参入 宝鋼集団との協業など
NF上海	住宅市場の縮小と防火ドアのライセンス一時停止による受注減少が要因となり減収、赤字拡大	<ul style="list-style-type: none"> 病院物件、商業施設物件への取組み強化 宝産三和との協業強化、コスト削減推進
ビナサンワ（ベトナム）	日系物件の獲得水準を維持し、メンテ事業にも注力。増収・増益を確保	<ul style="list-style-type: none"> ローカル・外資市場への取組み強化 近隣諸国への輸出対応
安和金属（台湾）	大型現場の次年度延期や工事遅延などが発生し、減収・減益となった	<ul style="list-style-type: none"> 日本品質（高品質）としてのブランド定着 ターゲット市場への品揃え強化
三和香港	工事進捗遅延が頻発していることが要因となり、減収・減益となった	<ul style="list-style-type: none"> ステンレス、スチールドアなど多品種化への取組み強化
ドンバンNF	韓国経済の不況の影響を受け減収となったが、コスト削減等により利益は改善した	<ul style="list-style-type: none"> 景気浮揚策、規制強化に対応し受注拡大 特殊・高利益製品による利益改善

14. グローバル・シナジーの発揮

テーマおよび取組み事例	14年度実績	修正予想	15年度予想
<p>1. 戦略商品のグローバル展開</p>	2.0億円	3.7億円	4.1億円
<p>■ 高機能シャッター開発 ODCで、グループ各社の開発ノウハウを活かし高機能シャッターを開発、2016年発売予定。</p>			
<p>2. 低コスト国からの調達拡大</p>	6.8億円	7.7億円	8.2億円
<p>■ 中国調達センターの統合 5月に中国調達センターを法人化し、共同調達会社として設立。</p>	<p>賛合貿易(上海)有限公司</p>  <p>Sanwa- GPC (Shanghai) Corporation</p>		
<p>3. 製品の相互補完・供給の拡大</p>	0.6億円	0.8億円	1.0億円
<p>■ ベトナムの大型現場への輸出 三和シャッター製品を納品したベトナムのノイバイ空港竣工。</p>	 		
<p>合計</p>	9.4億円	12.2億円	13.3億円

※上記金額は、各グループ会社の業績(利益)に含んでいます。

■ 参考資料

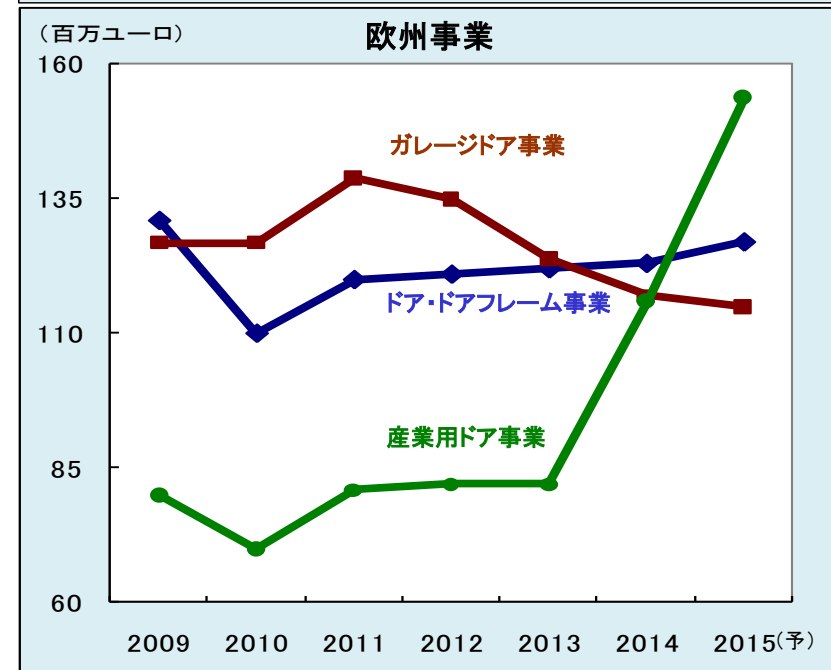
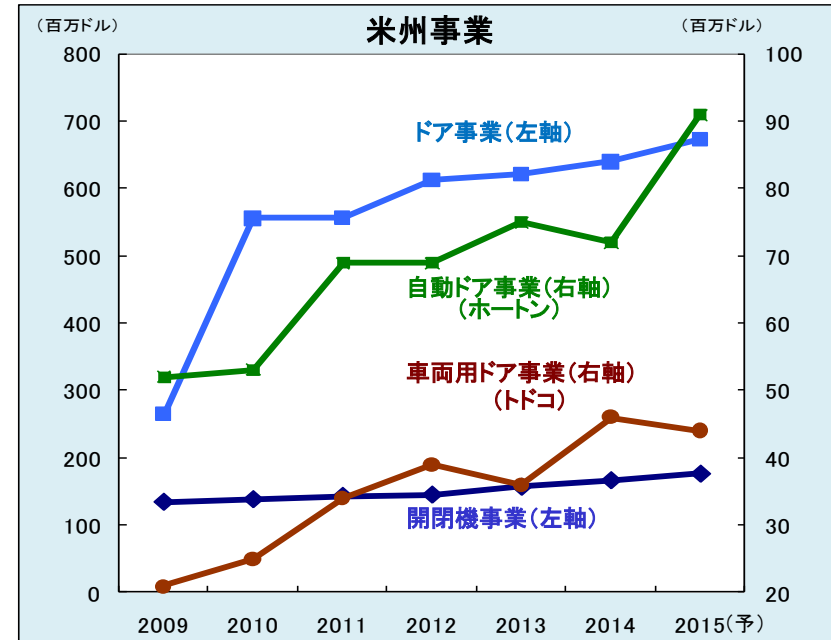
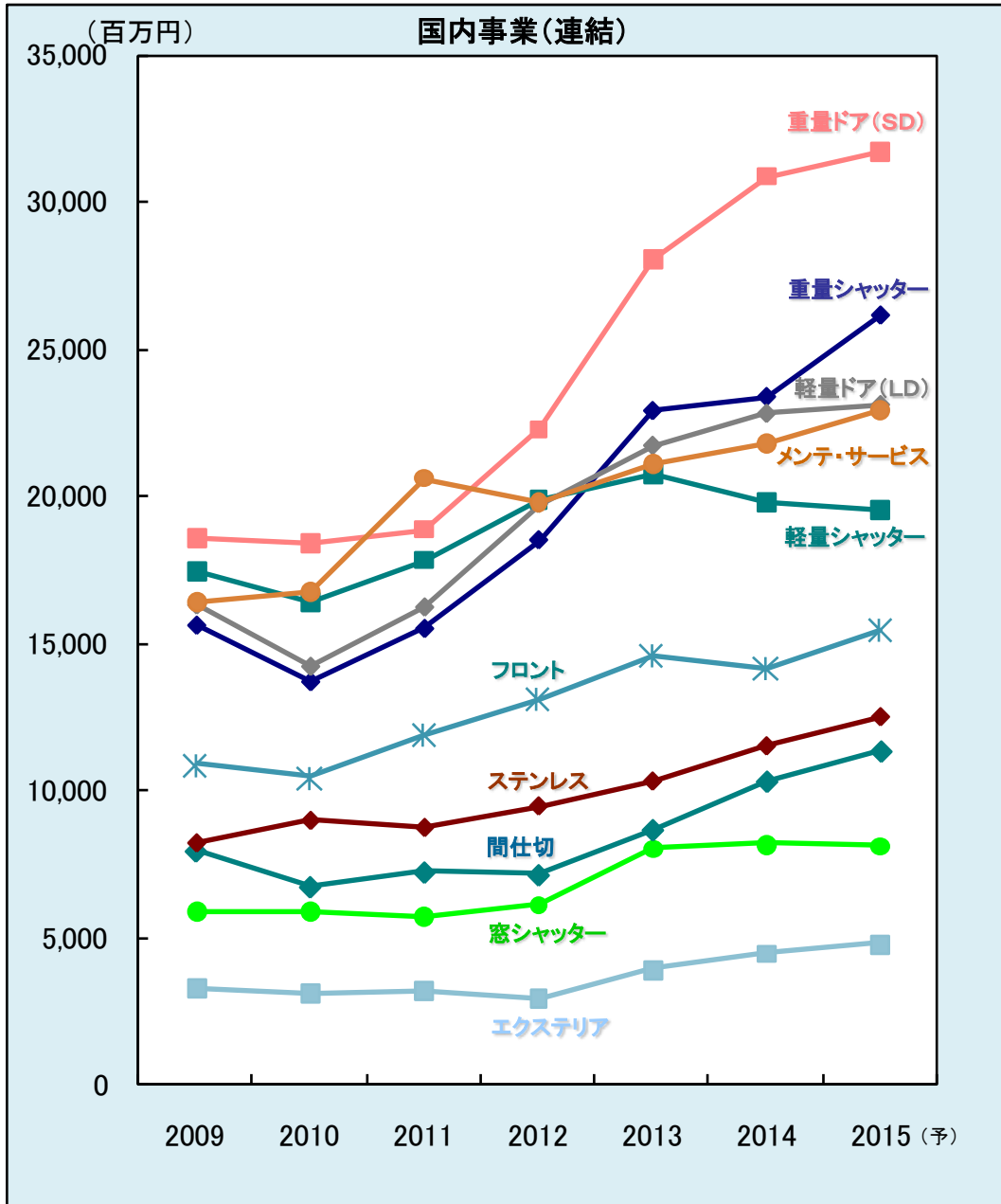
参考資料1. セクター別連結業績の概要

(百万円、千ドル、千ユーロ)

	2013年度						2014年度						2015年度					
	第2四半期累計			通期			第2四半期累計			通期			第2四半期(累計)			通期		
	(@95.90 @125.79)	利益率	前年 増減率	(@97.99 @130.56)	利益率	前年 増減率	(@102.23 @139.87)	利益率	前年 増減率	修正予想 (@103.00 @135.00)	(@106.46 @140.35)	利益率	前年 増減率	(@120.00 @130.00)	利益率	前年 増減率	(@120.00 @130.00)	利益率
売上高	134,415		(11.9%)	311,957		(17.3%)	146,406		(8.9%)	332,500		(8.7%)	160,000		(9.3%)	370,000		(9.1%)
[前年為替適用]							[141,489]		(5.3%)	[327,721]		(5.1%)	[154,066]		(5.2%)	[360,751]		(6.4%)
三和シャッター工業	65,216		(6.0%)	160,520		(12.8%)	71,942		(10.3%)	167,400		(5.5%)	74,000		(2.9%)	178,500		(5.4%)
その他国内子会社	11,944		(4.9%)	28,581		(11.0%)	12,258		(2.6%)	29,370		(1.8%)	12,700		(3.6%)	30,650		(5.3%)
ODC(米国)	\$418,261		(2.7%)	\$890,375		(2.7%)	\$425,869		(1.8%)	\$927,000		(3.9%)	\$440,000		(3.3%)	\$985,000		(6.5%)
	40,111		(23.5%)	87,247		(25.7%)	43,536		(8.5%)	95,481		(12.9%)	52,800		(21.3%)	118,200		(20.0%)
ノボフェルム(欧州)	€160,227		(Δ5.0%)	€328,219		(Δ3.1%)	€157,735		(Δ1.6%)	€355,000		(8.5%)	€191,000		(21.1%)	€395,000		(10.9%)
	20,154		(15.2%)	42,852		(22.3%)	22,062		(9.5%)	47,925		(16.7%)	24,830		(12.5%)	51,350		(2.7%)
営業利益	4,514	[3.4%]	(37.8%)	20,649	[6.6%]	(45.7%)	7,140	[4.9%]	(58.2%)	23,500	[7.8%]	(27.5%)	6,700	[4.2%]	(Δ6.2%)	28,000	[7.6%]	(6.3%)
[前年為替適用]							[7,049]		(56.2%)	[25,728]		(24.6%)	[6,426]		(Δ10.0%)	[27,144]		(3.1%)
三和シャッター工業	3,612	[5.5%]	(56.3%)	13,470	[8.4%]	(54.5%)	5,239	[7.3%]	(45.1%)	15,500	[10.3%]	(30.0%)	5,250	[7.1%]	(0.2%)	18,000	[10.1%]	(2.8%)
その他国内子会社	293	[2.5%]	(209.7%)	1,323	[4.6%]	(69.2%)	447	[3.6%]	(52.8%)	1,585	[5.8%]	(27.1%)	240	[1.9%]	(Δ46.4%)	1,750	[5.7%]	(4.0%)
ODC(米国)	\$10,451		(Δ18.8%)	\$49,681		(1.3%)	\$15,483		(48.2%)	\$60,000		(19.1%)	\$16,000		(3.3%)	\$72,000		(21.7%)
	1,002	[2.5%]	(Δ2.4%)	4,868	[5.6%]	(23.9%)	1,582	[3.6%]	(57.9%)	6,180	[6.4%]	(29.4%)	1,920	[3.6%]	(21.3%)	8,640	[7.3%]	(37.1%)
ノボフェルム(欧州)	Δ€1,936		(-)	€8,247		(10.7%)	Δ€493		(+)	€10,000		(30.0%)	€1,000		(+)	€11,500		(7.3%)
	Δ243	[1.2%]	(-)	1,076	[2.5%]	(39.7%)	Δ68	[Δ0.3%]	(+)	1,350	[3.0%]	(39.7%)	130	[0.5%]	(+)	1,495	[2.9%]	(Δ0.6%)
経常利益	4,298	[3.2%]	(32.2%)	20,316	[6.5%]	(45.2%)	6,826	[4.7%]	(58.8%)	23,000	[7.7%]	(27.9%)	6,300	[3.9%]	(Δ7.7%)	27,400	[7.4%]	(5.5%)
[前年為替適用]							[6,740]		(56.8%)	[25,386]		(25.0%)	[6,040]		(Δ11.5%)	[26,570]		(2.3%)
三和シャッター工業	3,769	[5.8%]	(54.0%)	13,769	[8.6%]	(53.2%)	5,432	[7.6%]	(44.1%)	15,800	[10.8%]	(32.6%)	5,360	[7.2%]	(Δ1.3%)	18,200	[10.2%]	(Δ0.3%)
その他国内子会社	311	[2.6%]	(180.3%)	1,359	[4.8%]	(66.2%)	474	[3.9%]	(52.3%)	1,620	[6.0%]	(27.8%)	251	[2.0%]	(Δ47.1%)	1,772	[5.8%]	(1.9%)
ODC(米国)	\$9,583		(Δ17.9%)	\$48,768		(0.9%)	\$15,205		(58.7%)	\$58,400		(17.9%)	\$14,800		(Δ2.7%)	\$69,100		(20.2%)
	919	[2.3%]	(Δ1.3%)	4,778	[5.5%]	(23.4%)	1,554	[3.6%]	(69.1%)	6,015	[6.2%]	(28.0%)	1,776	[3.4%]	(14.2%)	8,292	[7.0%]	(35.5%)
ノボフェルム(欧州)	Δ€3,619		(-)	€5,481		(Δ25.8%)	Δ€701		(+)	€8,900		(90.6%)	€300		(+)	€10,200		(Δ2.4%)
	Δ455	[Δ2.3%]	(-)	715	[1.7%]	(Δ6.4%)	Δ98	[Δ0.4%]	(+)	1,201	[2.9%]	(104.9%)	39	[0.2%]	(+)	1,326	[2.6%]	(Δ9.6%)
持分法適用会社投資損益	Δ20		(-)	206		(76.9%)	Δ207		(-)	Δ188		(-)	Δ150		(+)	75		(+)
当期純利益	916	[0.7%]	(Δ39.5%)	10,161	[3.3%]	(41.5%)	3,286	[2.2%]	(258.8%)	11,500	[3.8%]	(26.5%)	3,200	[2.0%]	(Δ2.6%)	14,000	[3.8%]	(8.9%)
[前年為替適用]							[3,254]		(255.3%)	[12,513]		(23.1%)	[3,023]		(Δ8.0%)	[13,461]		(4.7%)
三和シャッター工業	1,133	[1.7%]	(Δ16.6%)	7,216	[4.5%]	(36.3%)	3,416	[4.7%]	(201.4%)	10,000	[6.9%]	(62.8%)	3,380	[4.6%]	(Δ1.1%)	11,830	[6.6%]	(0.7%)
その他国内子会社	186	[1.6%]	(151.1%)	676	[2.4%]	(33.0%)	273	[2.2%]	(46.6%)	1,000	[3.4%]	(44.8%)	103	[0.8%]	(Δ62.4%)	1,086	[3.5%]	(10.9%)
ODC(米国)	\$2,433		(Δ48.5%)	\$20,633		(Δ15.1%)	\$9,767		(301.4%)	\$38,500		(75.8%)	\$9,800		(0.3%)	\$44,340		(22.3%)
	233	[0.6%]	(Δ38.1%)	2,021	[2.3%]	(3.8%)	998	[2.3%]	(327.9%)	3,965	[3.9%]	(90.9%)	1,176	[2.2%]	(17.8%)	5,320	[4.5%]	(37.8%)
ノボフェルム(欧州)	Δ€2,057		(-)	€2,451		(22.0%)	Δ€2,132		(-)	€1,100		(54.0%)	Δ€300		(+)	€5,900		(56.3%)
	Δ258	[Δ1.3%]	(-)	320	[0.7%]	(53.9%)	Δ298	[Δ1.4%]	(-)	148	[1.1%]	(65.6%)	Δ39	[Δ0.2%]	(+)	767	[1.5%]	(44.8%)
持分法適用会社投資損益	Δ20		(-)	206		(76.9%)	Δ207		(-)	Δ188		(-)	Δ150		(+)	75		(+)

- 2014年度及び2015年度の[]内は、前年の為替換算レートを適用した場合の数値であります。
- 数値は切り捨て。()内は前年同期増減率、(+)は前年比増加、(-)は前年比減少。[]内は利益率。
- 在外子会社等にかかる為替換算レートは期中平均レートを使用しています。
- 上記には、三和ホールディングス及び連結相殺が表示されていないため、合計とは一致しません。

参考資料2. 各地域(日・米・欧)の主要商品売上動向



参考資料3. 日本:製品別受注高・売上高 (三和シャッター工業)

(百万円・%)

		2014年度 (H26年度)									2015年度 (H27年度)										
		上 期			下 期			通 期			上 期 (予想)			下 期 (予想)			通 期 (予想)				
		受注高	売上高	構成比	受注高	売上高	構成比	受注高	構成比	売上高	構成比	受注高	売上高	構成比	受注高	売上高	構成比	受注高	構成比	売上高	構成比
シャッター 製品	軽 量	(△0.2) 13,560	(0.5) 13,074	18.2	(△3.2) 13,647	(△6.5) 13,690	14.0	(△1.7) 27,207	15.1	(△3.2) 26,765	15.8	(△3.4) 13,100	(1.0) 13,200	17.8	(0.4) 13,700	(0.1) 13,700	13.1	(△1.5) 26,800	14.3	(0.5) 26,900	15.1
	重 量	(5.8) 16,897	(8.5) 13,729	19.1	(14.2) 18,365	(△0.7) 18,183	18.7	(10.0) 35,262	19.6	(3.1) 31,913	18.8	(4.2) 17,600	(7.1) 14,700	19.9	(6.2) 19,500	(13.3) 20,600	19.7	(5.2) 37,100	19.8	(10.6) 35,300	19.8
	小 計	(3.1) 30,458	(4.5) 26,803	37.3	(6.1) 32,012	(△3.3) 31,874	32.7	(4.6) 62,470	34.7	(0.1) 58,678	34.6	(0.8) 30,700	(4.1) 27,900	37.7	(3.7) 33,200	(7.6) 34,300	32.8	(2.3) 63,900	34.2	(6.0) 62,200	34.8
シャッター 関連	O S D	(△1.5) 2,937	(2.0) 2,701	3.8	(0.5) 3,153	(△6.7) 3,271	3.4	(△0.5) 6,090	3.4	(△2.9) 5,973	3.5	(2.1) 3,000	(△3.8) 2,600	3.5	(4.7) 3,300	(10.0) 3,600	3.4	(3.4) 6,300	3.4	(3.8) 6,200	3.5
	そ の 他	(4.1) 5,367	(5.8) 4,457	6.2	(11.1) 6,035	(△0.0) 6,129	6.3	(7.7) 11,403	6.3	(2.4) 10,586	6.2	(7.2) 5,900	(6.2) 5,000	6.8	(12.1) 7,000	(15.9) 7,300	7.0	(9.8) 12,900	6.9	(11.7) 12,300	6.9
	小 計	(4.1) 8,305	(5.8) 7,159	10.0	(11.1) 9,188	(△0.0) 9,401	9.6	(7.7) 17,493	9.7	(2.4) 16,560	9.8	(7.2) 8,900	(6.2) 7,600	10.3	(12.1) 10,300	(15.9) 10,900	10.4	(9.8) 19,200	10.3	(11.7) 18,500	10.4
ドア製品	ビル・マンション	(12.7) 28,762	(13.5) 20,269	28.2	(△0.3) 28,397	(4.3) 33,879	34.8	(5.8) 57,160	31.7	(7.5) 54,148	32.0	(2.6) 29,500	(△1.8) 19,900	26.9	(7.0) 30,400	(4.5) 35,400	33.9	(4.8) 59,900	32.0	(2.1) 55,300	31.0
	住 宅	(54.4) 1,617	(54.7) 1,616	2.2	(17.0) 1,800	(16.8) 1,801	1.8	(32.1) 3,418	1.9	(32.1) 3,417	2.0	(11.3) 1,800	(11.4) 1,800	2.4	(5.5) 1,900	(5.5) 1,900	1.8	(8.2) 3,700	2.0	(8.3) 3,700	2.1
	小 計	(14.4) 30,380	(15.7) 21,885	30.4	(0.6) 30,198	(4.8) 35,680	36.6	(7.0) 60,578	33.6	(8.7) 57,566	34.0	(3.0) 31,300	(△0.8) 21,700	29.3	(7.0) 32,300	(4.5) 37,300	35.7	(5.0) 63,600	34.0	(2.5) 59,000	33.1
窓 製 品		(13.3) 4,356	(13.1) 4,318	6.0	(△6.8) 4,377	(△7.0) 4,394	4.5	(2.3) 8,734	4.8	(2.0) 8,713	5.1	(△1.3) 4,300	(△0.4) 4,300	5.8	(0.5) 4,400	(0.1) 4,400	4.2	(△0.4) 8,700	4.7	(△0.2) 8,700	4.9
エクステリア製品		(19.6) 1,995	(31.4) 1,861	2.6	(3.0) 2,128	(2.1) 2,119	2.2	(10.4) 4,124	2.3	(14.0) 3,981	2.3	(1.7) 2,030	(9.0) 2,030	2.7	(4.7) 2,230	(5.2) 2,230	2.1	(3.3) 4,260	2.3	(7.0) 4,260	2.4
その他の製品	間 仕 切 製 品	(18.8) 5,683	(19.8) 3,961	5.5	(10.0) 5,766	(18.6) 6,293	6.5	(14.2) 11,443	6.4	(19.1) 10,254	6.1	(12.6) 6,400	(6.0) 4,200	5.7	(11.0) 6,400	(11.2) 7,000	6.7	(11.8) 12,800	6.8	(9.2) 11,200	6.3
	ステンレス製品	(67.4) 3,666	(42.9) 1,927	2.7	(16.3) 3,326	(33.4) 3,622	3.7	(38.4) 6,992	3.9	(36.5) 5,550	3.3	(△29.1) 2,600	(8.9) 2,100	2.8	(△6.8) 3,100	(13.2) 4,100	3.9	(△18.5) 5,700	3.0	(11.7) 6,200	3.5
	フロント製品	(△0.7) 456	(△14.1) 360	0.5	(54.7) 700	(14.4) 597	0.6	(26.7) 1,157	0.6	(1.7) 958	0.6	(9.5) 500	(38.7) 500	0.7	(△0.1) 700	(17.1) 700	0.7	(3.7) 1,200	0.6	(25.2) 1,200	0.7
	自動ドアエンジン	(4.9) 1,292	(4.1) 1,128	1.6	(3.7) 1,427	(2.3) 1,430	1.5	(4.3) 2,719	1.5	(3.1) 2,559	1.5	(0.7) 1,390	(5.2) 1,340	1.8	(7.7) 1,480	(5.1) 1,460	1.4	(4.4) 2,870	1.5	(5.1) 2,800	1.6
	そ の 他	(22.0) 1,918	(14.6) 2,534	3.5	(10.3) 2,495	(15.6) 2,061	2.1	(15.7) 4,413	2.5	(15.2) 4,596	2.7	(△1.9) 1,880	(5.6) 2,330	3.1	(6.2) 2,890	(9.7) 2,110	2.0	(2.3) 4,770	2.6	(8.0) 4,440	2.5
小 計	(22.0) 13,016	(14.6) 9,912	13.8	(10.3) 13,715	(15.6) 14,006	14.4	(15.7) 26,732	14.8	(15.2) 23,918	14.1	(△1.9) 12,770	(5.6) 10,470	14.1	(6.2) 14,570	(9.7) 15,370	14.7	(2.3) 27,340	14.6	(8.0) 25,840	14.5	
合 計		(10.3) 88,513	(10.3) 71,942	100.0	(4.5) 91,621	(2.3) 97,477	100.0	(7.3) 180,135	100.0	(5.5) 169,419	100.0	(1.7) 90,000	(2.9) 74,000	100.0	(5.9) 97,000	(7.2) 104,500	100.0	(3.8) 187,000	100.0	(5.4) 178,500	100.0
ビル建材部門		(13.0) 57,607	(13.3) 41,735	58.0	(6.7) 58,495	(4.6) 64,597	66.3	(9.7) 116,103	64.5	(7.8) 106,332	62.8	(2.9) 59,300	(3.0) 43,000	58.1	(7.2) 62,700	(9.8) 70,900	67.8	(5.1) 122,000	65.2	(7.1) 113,900	63.8
店装建材部門		(△1.6) 10,800	(△0.9) 10,243	14.2	(△1.7) 11,092	(△7.2) 10,993	11.3	(△1.6) 21,892	12.2	(△4.3) 21,236	12.5	(△4.6) 10,300	(0.6) 10,300	13.9	(△1.7) 10,900	(△0.9) 10,900	10.4	(△3.2) 21,200	11.3	(△0.2) 21,200	11.9
住宅建材部門		(19.3) 8,348	(21.5) 8,172	11.4	(△0.7) 8,712	(△1.0) 8,730	9.0	(8.2) 17,060	9.5	(8.7) 16,902	10.0	(1.8) 8,500	(4.0) 8,500	11.5	(3.3) 9,000	(3.1) 9,000	8.6	(2.6) 17,500	9.4	(3.5) 17,500	9.8
メンテ・サービス		(4.9) 10,328	(4.1) 9,889	13.7	(3.7) 11,418	(2.3) 11,703	12.0	(4.3) 21,747	12.1	(3.1) 21,592	12.7	(0.7) 10,400	(5.2) 10,400	14.1	(7.7) 12,300	(5.1) 12,300	11.8	(4.4) 22,700	12.1	(5.1) 22,700	12.7
そ の 他		(4.9) 1,428	(4.1) 1,901	2.6	(3.7) 1,903	(2.3) 1,452	1.5	(4.3) 3,331	1.8	(3.1) 3,354	2.0	(0.7) 1,500	(5.2) 1,800	2.4	(7.7) 2,100	(5.1) 1,400	1.3	(4.4) 3,600	1.9	(5.1) 3,200	1.8
		金 額			金 額			通期増減額			金 額			金 額			通期増減額				
うち		76,207			70,115			10,579			86,115			78,615			8,500				
仕 掛 品		18,945			14,851			2,396			22,700			16,500			1,648				

1. ()内は、前年増減率を示す。 2. 手持残高は、未発注・未仕入・仕掛品の合計で示す。

参考資料4. 米国:部門別売上高(ODC)

(千ドル・%)

		2013年度		2014年度						2015年度(予想)					
		通 期		上 期		下 期		通 期		上 期		下 期		通 期	
部門別売上高	ドア部門	(1.4) 621,574	69.8	(1.1) 291,246	68.4	(4.4) 348,257	69.7	(2.9) 639,503	69.1	(2.4) 298,331	67.8	(7.6) 374,569	68.7	(5.2) 672,900	68.3
	開閉機部門	(8.4) 157,328	17.7	(7.5) 81,224	19.1	(5.4) 86,199	17.3	(6.4) 167,423	18.1	(△5.1) 77,109	17.5	(15.4) 99,491	18.3	(5.5) 176,600	17.9
	自動ドア部門	(8.9) 75,597	8.5	(△10.2) 31,737	7.5	(△0.3) 40,157	8.0	(△4.9) 71,894	7.8	(32.0) 41,904	9.5	(22.8) 49,296	9.0	(26.9) 91,200	9.3
	車両部門	(△8.5) 35,876	4.0	(12.6) 21,662	5.1	(49.0) 24,789	5.0	(29.5) 46,451	5.0	(4.6) 22,656	5.1	(△12.7) 21,644	4.0	(△4.6) 44,300	4.5
売上高		(2.7) 890,375	100.0	(1.8) 425,869	100.0	(5.8) 499,401	100.0	(3.9) 925,271	100.0	(3.3) 440,000	100.0	(9.1) 545,000	100.0	(6.5) 985,000	100.0
営業利益		(1.3) 49,681	5.6	(48.2) 15,483	3.6	(11.4) 43,699	8.8	(19.1) 59,183	6.4	(3.4) 16,000	3.6	(28.1) 56,000	10.3	(21.7) 72,000	7.3
経常利益		(0.9) 48,768	5.5	(58.7) 15,205	3.6	(7.9) 42,270	8.5	(17.9) 57,476	6.2	(△2.7) 14,800	3.4	(28.5) 54,300	10.0	(20.2) 69,100	7.0
当期純利益		(△15.1) 20,633	2.3	(301.4) 9,767	2.3	(45.6) 26,495	5.3	(75.8) 36,263	3.9	(0.3) 9,800	2.2	(30.4) 34,540	6.3	(22.3) 44,340	4.5
EBIT		(0.6) 49,017	5.5	(58.8) 15,338	3.6	(7.2) 42,204	8.5	(17.4) 57,543	6.2	(△1.6) 15,100	3.4	(30.3) 55,000	10.1	(21.8) 70,100	7.1
EBITDA		(0.6) 69,387	7.8	(34.2) 26,341	6.2	(8.1) 53,806	10.8	(15.5) 80,147	8.7	(11.2) 29,297	6.7	(29.7) 69,798	12.8	(23.6) 99,095	10.1

1. ()内は前年増減率を示す。

2. EBITおよびEBITDAには、特別損益を含まない。

参考資料5. 欧州:所在地別売上高(NF)

(千ユーロ、%)

		2013年度		2014年度						2015年度(予想)					
		通期		上期		下期		通期		上期		下期		通期	
所在地別	ドイツ	(△2.6)		(△0.6)		(△3.7)		(△2.2)		(△1.7)		(2.2)		(0.3)	
		227,253	69.2	108,118	68.5	114,104	57.5	222,222	62.4	106,300	55.7	116,600	57.2	222,900	56.4
	フランス	(△8.3)		(△7.8)		(△11.7)		(△9.7)		(△1.5)		(6.4)		(2.1)	
		67,871	20.7	33,206	21.1	28,111	14.2	61,317	17.2	32,700	17.1	29,900	14.7	62,600	15.8
	イタリア	(8.9)		(18.6)		(7.4)		(12.2)		(4.5)		(△5.3)		(△0.9)	
		21,482	6.5	11,010	7.0	13,098	6.6	24,108	6.8	11,500	6.0	12,400	6.1	23,900	6.1
	オランダ	(△0.8)		(0.5)		(122.4)		(61.2)		(118.2)		(5.6)		(40.9)	
		57,735	17.6	29,146	18.5	63,923	32.2	93,069	26.1	63,600	33.3	67,500	33.1	131,100	33.2
売上高		(△3.1)		(△1.6)		(18.1)		(8.5)		(21.1)		(2.8)		(10.9)	
		328,219	100.0	157,735	100.0	198,443	100.0	356,178	100.0	191,000	100.0	204,000	100.0	395,000	100.0
営業利益		(10.7)		(+)		(10.1)		(30.0)		(+)		(△6.3)		(7.3)	
		8,247	2.5	△493	△0.3	11,211	5.6	10,718	3.0	1,000	0.5	10,500	5.1	11,500	2.9
経常利益		(△25.8)		(+)		(22.5)		(90.6)		(+)		(△11.2)		(△2.4)	
		5,481	1.7	△701	△0.4	11,147	5.6	10,446	2.9	300	0.2	9,900	4.9	10,200	2.6
当期純利益		(22.0)		(-)		(31.0)		(54.0)		(-)		(5.0)		(56.3)	
		2,451	0.7	△2,132	△1.4	5,907	3.0	3,775	1.1	△300	△0.2	6,200	3.0	5,900	1.5
EBIT		(△23.9)		(+)		(57.9)		(81.6)		(+)		(△30.6)		(△10.1)	
		7,465	2.3	△2,425	△1.5	15,979	8.1	13,554	3.8	1,100	0.6	11,082	5.4	12,182	3.1
EBITDA		(△12.0)		(5.2)		(47.2)		(41.9)		(244.0)		(△20.9)		(3.7)	
		17,535	5.3	2,318	1.5	22,567	11.4	24,885	7.0	7,973	4.2	17,841	8.7	25,814	6.5

1. IFRS基準で作成したものを日本基準に組替えて示す。

2. 所在地別売上高は各国所在各社の単純合算数値です。上段()は前年増減率を示す。

3. EBITおよびEBITDAには、特別損益を含まない。

参考資料6. 主要経営指標

主要経営指標の推移

主要経営指標(連結)	2010年度 実績	2011年度 実績	2012年度 実績	2013年度 実績	2014年度 実績	2015年度 予想
売上高 (百万円)	237,295	248,214	265,913	311,957	339,045	370,000
営業利益 (百万円) (のれん償却前)	4,562 (6,078)	8,855	14,174	20,649	26,334	28,000
純利益 (百万円) (のれん等償却前)	-2,443 (1,887)	3,297	7,182	10,161	12,857	14,000
売上高営業利益率 (百万円) (のれん償却前)	1.9% (2.6%)	3.6%	5.3%	6.6%	7.8%	7.6%
ROE: 純利益/純資産(期首・期末平均) (のれん等償却前)	-2.7% (2.1%)	3.8%	7.9%	9.6%	10.7%	10.7%
自己資本比率(期末)	39.3%	37.7%	40.1%	40.4%	39.1%	40.7%
期末純資産 (百万円)	86,012	85,522	97,134	113,956	126,748	136,100
期末総資産 (百万円)	218,933	226,580	241,771	281,917	323,391	334,500
期末有利子負債 (百万円)	59,892	61,607	60,799	69,153	88,483	72,100
D/Eレシオ: 有利子負債/純資産 (倍)	0.70	0.72	0.63	0.61	0.70	0.53
SVA(Sanwa Value Added) (百万円)	-2,661	-1,201	1,870	5,410	7,770	8,100
EPS: 1株純利益 (円) (のれん償却前)	-10.2 (7.9)	13.7	29.9	42.4	54.1	59.9
発行済株式数(期中平均) (千株)	240,321	240,306	239,961	239,768	237,694	233,672

(注) 1. SVAは当社独自方式のEVAの数値。 2. 2010年度の純利益(のれん等償却前)は、のれん償却と公取課徴金を除いたもの。

参考資料7. 設備投資額と減価償却費(連結)

(百万円)

	2013年度		2014年度		2015年度(見通し)	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期
設備投資額	3,247	7,116	3,199	7,727	5,300	10,200
三和シャッター工業	837	2,143	942	1,934	1,800	3,800
三和ホールディングス	208	251	122	492	200	500
為替レート (内は千ドル表示)	95.90 (\$17,359)	97.99 (\$32,042)	102.23 (\$15,180)	106.46 (\$32,216)	120.00 (\$19,166)	120.00 (\$30,000)
ODC	1,664	3,139	1,551	3,429	2,300	3,600
為替レート (内は千ユーロ表示)	125.79 (\4,097)	130.56 (\10,743)	139.87 (\3,861)	140.35 (\12,205)	130.00 (\6,153)	130.00 (\14,615)
Novofern	515	1,402	540	1,712	800	1,900
国内連結子会社	21	179	42	157	200	400
減価償却費	3,134	6,626	3,536	8,123	4,998	10,271
三和シャッター工業	1,074	2,306	1,231	2,612	1,360	2,910
三和ホールディングス	232	472	228	466	227	462
為替レート (内は千ドル表示)	(9,967) 955	(20,370) 1,996	(11,003) 1,124	(22,604) 2,406	(14,197) 1,703	(28,995) 3,479
ODC	(6,858)	(10,070)	(4,743)	(11,331)	(6,873)	(13,632)
Novofern	611	1,314	663	1,590	893	1,772
国内連結子会社	41	89	52	113	80	180
のれん償却費	218	446	235	935	734	1,467
有形固定資産償却費	1,886	3,969	2,025	4,495	2,670	5,579
三和シャッター工業	311	752	425	972	530	1,220
三和ホールディングス	231	469	228	464	227	461
為替レート (内は千ドル表示)	(8,010) 768	(15,785) 1,546	(7,210) 737	(15,524) 1,652	(9,458) 1,135	(19,516) 2,342
ODC	(6,283)	(8,581)	(4,205)	(9,320)	(5,523)	(10,932)
Novofern	538	1,120	588	1,308	718	1,421
国内連結子会社	37	80	46	96	60	135
無形固定資産償却費	1,248	2,656	1,510	3,628	2,328	4,691
三和シャッター工業	763	1,554	805	1,639	830	1,690
三和ホールディングス	1	2	0	1	0	1
為替レート (内は千ドル表示)	(1,957) 187	(4,584) 449	(3,792) 387	(7,079) 753	(4,738) 568	(9,479) 1,137
ODC	(657)	(1,488)	(538)	(2,010)	(1,350)	(2,700)
Novofern	72	194	75	282	175	351
国内連結子会社	4	9	5	16	20	45
のれん償却費	218	446	235	935	734	1,467

参考資料8. トピックス

◆2015年4月



都市型水害に対応した防水商品 「ウォーターガード Sタイトドア / eシート」を発売



三和シャッター工業が、集中豪雨などによる災害時に建物内部への浸水を防ぐ防水商品「ウォーターガード Sタイトドア」と、簡易型防水商品「ウォーターガード eシート」を発表した。

◆2015年1月



フラットでシンプルなデザインの ガレージシャッター「エレガノ STワイド」を発売



三和シャッター工業が、住宅用ガレージシャッター「エレガノ STワイド」を発売。防火・防犯性能を備え、高い意匠性が特長。

◆2014年12月



オーバーヘッドドア社が自動ドア販売会社 「Horton Automatics of Ontario」を買収



ODCが、川下戦略推進のため自動ドア販売会社「Horton Automatics of Ontario」を買収した。

◆2014年12月



ODCのクリエイティブドアサービスが Northern Alberta Consumer Choice Awards を受賞



CDSが、ビジネスエクセレンスを対象とした調査により、カナダで認知度の高い Northern Alberta Consumer Choice Awards を受賞した。

◆2015年1月



Novofermが国際建築・建材・建築システム 専門見本市「BAU2015」に出展



Novofermが、1月19～24日、ドイツ・ミュンヘンで開催された欧州最大級の建築フェア「BAU2015」に出展した。ガレージ用開閉機や産業用スパイラルドア、スチールドアなどを展示した。